



蘭田 靖邦 議員

○次年度予算から思う町の将来について  
○重点分野への人材集中について  
〈人づくりと機構改革の重要性〉

問

**質問** 的を絞った施策の展開、高度情報基盤整備事業からのモデル地域の必要性、そのための補助制度の活用。

**町長** 県内トップクラスの通信網が整った民間事業者による高齢者見守りサービス実証実験も新聞報道され認識され始めている。ICTを利活用し、町の課題解決するような補助制度を積極的に利用する。重要な事は、しっかりとした目的を設定する事で整備した通信環境を十分に生かす事。

**質問** 普通交付税の減額から財源確保の重要性について。

**町長** 林野庁、環境省の関係から森林交付税を全国展開している組織がある。その様な制度を今、検討している。

**質問** 次世代の子供達への更なる補助率アップと無料化できるものの積算は。

**教育総務課長** 無料化

とか軽減できる可能性があるものは学校給食費があげられる。参考までに積算は平成27年度において軽減した場合、概算で1688万円、全額町負担、第2子以降を全て無料、約567万円、第2子半額にして第3子以降を無料、約330万円。

**福祉課長** 保育料については、国の制度に合わせ年収360万円未満の世帯について保育料負担軽減として多子計算に係る年齢制限を撤廃し、当町においては第2子を半額、第3子以降の無償化を完全実施した場合は約1000万円の一般財源が必要。

**質問** 戦略室構想と方向性を決定していく事業について。

**企画課長** 毎年度、総合戦略の進捗状況を検証して改善が必要な場合は的確に対処する。

**質問** 重点分野への人材集中について。新設する課、情報政策課だけの対応が進められるものではないと思うが。

**町長** ICTを利活用しない事には前に進まない時代背景。課を設置して横断的な対応をする。

**質問** 町長直属の機関の位置づけにしたらどうか。

**副町長** 町長の意思がより明確に反映されるような執行部局により近い位置づけにする。

**質問** 短期間で効果を上げる人材集中について。

**町長** 当然ながら人材を集中する。

**質問** 地方創生にかかる総合戦略、合併特例債を使った事業がまだあるのか。

**総務課長** 新町建設計画に掲載された事業を進めなければならない残額として21億6000万円程ある。

**質問** 機構改革について部局の統廃合によるプロジェクトチームの結成は考えているか。

**町長** 臨機応変に対応する。今の時代に合った組織としてやるべき。

**質問** 以上の事を踏まえ、要望として総務課の行政改革室と企画課の、まちづくり室を統合したらどうか。

**町長** もう一つ言わせていただくと、財政も絡めて企画が動きやすいのではないか。早い段階で検討し来年度の機構改革に間に合わせたい。



川根本町の将来を担う子たち

答

- 交付税制度の見直しを注視しつつ事業を実施するための財源の確保に努力する
- 職員一人一人の能力を最大限活用、より柔軟に対応できる組織体制、新たな行政サービスの確立



芹澤 廣行 議員

問

○青部地区の町が取得した土地利用について  
○南アルプス南部地区活性化推進協議会について



青部小学校

**質問** 青部バイパストンネル工事に伴ない現存している旧青部小学校敷地と、青部地区住民の方から購入取得した土地の利活用について伺う。

**町長** 旧青部小学校の敷地3595㎡、町が購入取得できた土地面積1万3888㎡、合計約1万7500㎡弱となっております。埋め立て後の土地の利活用については、今後検討する会を設けながら協議していく考えです。

**質問** 旧青部小学校の建物の活用についてどのような考えを持っているか伺う。

**町長** 協議会設立後、旧小学校の建物をどうするか協議していく考えですが、地元青部地区の皆様との協議の流れから、基本的には残さない、残せないの方向でお知らせはしてあると考えています。現実的な話になりますと、現在の建物を移築しようとした場合、多額の費用が必要な上、利用のためには耐震性を確保する必要もあるのが現状です。

**質問** 現在通行止めとなっている青部の吊り橋について、今後町としてどのような対処をしていくのか伺う。

**町長** 河川管理者である静岡県からの指導により、吊り橋の所有者である中部電力株式会社は、吊り橋撤去の準備のため通行止めとして現在に至っています。しかし、撤去根拠となる違法な河川占用につ



青部吊り橋

きましては改善をすれば問題がなくなることから、吊り橋の撤去については白紙撤回をされています。県は吊り橋を残す前提で、中部電力、本町と数回協議を行っています。

しかし、吊り橋をどうするかについては結論が出ていないのが現状です。町としてはどの様な結果になるか見守っている状況です。残すためには修繕費用が必要となりますので、難しい問題であるというふうに考えています。

**質問** 南アルプス南部地区活性化推進協議会の今後の活動について伺う。

**町長** 本町、早川町、静岡市の連携を強化することにより、更なる連携交流、自然保護、人と人の繋がり活性化をはかることにあります。



青部バイパストンネル工事土捨場

答

- 埋め立てた後の土地の利活用については検討する会を設けて協議していく
- 静岡市、早川町、川根本町の3自治体で構成している



中澤 莊也 議員

問

○茶茗館の管理・運営方針は  
○豊かな自然環境、歴史・文化を生かしたまちづくりとは

**質問** 茶茗館の管理・運営方針は ①町が直接管理・運営する理由は②お茶に特化した施設としていくという運営方針の転換は③川根茶の情報発信基地としての設置目的の実現は

**町長** ①川根本町のお茶をどのようにPRするかということが重要で、これが行政の責任だと感じ、町が直接管理・運営を行うこととした。②銘茶川根茶をしつかり普及啓発していく施設であると町民も来訪者も意識して立ち寄っていただけの施設が町に必要と考えた。③茶茗館に川根茶の流通販売の情報を集め、お客様の希望に即した案内サービスができるようにしていきたい。

**質問** 豊かな自然環境、歴史・文化を生かしたまちづくり①「南アルプスエコパーク」への登録等をどのようにまちづくり

**町長** ①川根本町まちひと、しごと創生総合戦略の中で推進していきたい。誇りや意識の醸成といった情緒的な部分も大切だが、あわせて子育て・医療・教育などの環境、あるいは



本年度から町直営となるフォーレなかかわね茶茗館

ちづくりに生かし、住民のこの地で暮らす誇り、意識の高揚を図ろうとしているのか②ユネスコエコパーク推進事業の成果とこれから実施しようとしている啓発事業、推進資源調査の方法・内容は③景観保護条例制定の考えはあるか。

多様な就労・定住環境の満足度を高めていくことが必要である。登録されたからといってすぐに何か変化するというものではない。今までの文化、生活、生活を継承できる仕組みを官民でつくっていくことが最も重要なものと感じている。啓発事業としては、外に向けてはホームページ、パンフレット、のぼり等を掲出し、町民には地域資源解説本を作成して配付していく。また、出前講座を実施して町の素晴らしい資源を解説していただく機会を作りたい。新たな取り組みとして、大井川鐵道沿線に駅を起点に、地域に入り込んでいくコースを何か所か設定する調査を行うとともに、地域の方々が観光客を案内できるように仕組みを関係者と協議していきたい。③来



日本一短いトンネル (保安)

年度町内に2か所ほど南アルプスエコパークと日本で最も美しい村連合への加盟を同時にアピールするある程度大きな看板を設置する予定である。そのほか、地域ガイド養成研修、啓発出前講座も実施する予定である。また、推進資源調査として、次年度は大札山、山犬段から沢口山へのトレッキング、登山に対応できるシャトルバスの可能性を調査したい。③景観保護条例については、景観計画策定を進める中で方向性を考えていきたい。

答

○川根茶のPRIは、町が責任を持って行うべき  
川根茶のインフォメーション機能の強化が重要  
○南アルプス・川根本町の資源をわかりやすく解説した本を作成し、全戸に配付 出前講座も実施



野口 直次 議員

問

○28年度予算の実施に当たり考えを伺う  
 27年度出生数低下、南部地区観光、通勤等  
 ○第2次総合計画の思いを伺う  
 アンケート調査結果、教育、子育て等

**質問** 平成28年度予算を実施するにあたり行政の考えを伺う。

**町長** 平成28年度予算は、商工観光業の予算に重点配分が見られるが、南部地区（中川根）の観光のこれからの見通しを伺う。

**町長** 大鐵沿線周遊コース構築、各駅を基点に地域資源を巡る観光コースを設定する考えで模索する。徳山の桜は商工会や地域で祭りを盛り上げて賑わいを創出しているが、観光的に言えば、もっともっと桜を植栽して徳山地域が桜の名所というブランドが出来上がり、地域の人々の思いをひとつにして植栽活動を率先して行う運動が起されれば、町としては苗木などを、少なくとも支援する。

**質問** 町外からの通勤者の町内定住を促進させる取り組みについて伺う。

**町長** 子育て世代の居住空間の充実を図るための助成制度の拡充、配偶者等が暮らしやすい環境整備、総合的にまちの魅力を向上し家族全員でこの町に住みたいと思っただけの町づくりを進める。

**質問** 27年度出生率低下をどの様に捉え、教育や子育て支援関係の予算に反映させるか伺う。

**町長** 27年度出生数は16人である。大変厳しい状況であると認識し、子育てしやすい町づくりを目指す。事業としては本格的に実施をしており、学校教育の充実、若者交流センターを活用し町の教育の魅力を図る。

**質問** 創生戦略を含め、第2次総合計画の思いと計画策定アンケートの採用について伺う。

**町長** アンケート調査結果については、翌年

度の基本計画に策定された際に資料として記載することを予定している。

**質問** 各分野に町民の積極的な地域参画は。

**町長** 来年も各学校の支援員として地域の皆様に活躍して頂く。各学校行事の開催には積極的に参加していただき、地域コミュニティの活性化にも学校の役割は大切。RG授業を理解していただくために子育てをしていこうとする若い皆様に誤解のないようにしっかりと伝えていく。介護福祉等もケアアライズカフェ等を実施し多くのボランティアに協力していただく中で町民に社会参加を促したい。

**質問** 町内小中学校の施設を含め老朽化した公共の建物について伺う。

**町長** 学校校舎は本川根中で約46年経過、最



中央小学校

も新しい中川根中でも約32年が経過している。耐震化率は100%であるが、経年劣化による建物の痛みも目立ち、修繕等が必要な箇所もかなりの数が出てくる可能性が大きい。建設当時の児童・生徒数よりかなり減少している。今後改築等含めた対策が必要な状況。公共施設等についても長期的な視点をもって更新・統廃合・長寿命化などを計画的に管理するため、総合管理計画の策定業務を行っていく。

答

- 徳山の桜は観光的に言えば、まだまだ植栽活動必要苗木等を支援する 出産予定数16人
- 全校が築30年以上、児童大幅に減少、今後学校施設を含め公共施設等対策必要に



鈴木多津枝 議員

- 多額な情報基盤事業の費用対効果は
- 28年度予算の若者・子育て支援拡充は
- 町民が乗りやすいよう大鐵の運賃補助を

問

**質問** 消費税8%以来、かわねフォンの改善を。アベノミクスはますます格差を広げ、庶民の暮らしは収入減と医療・介護負担増、物価高で火の車だ。自公政権は、福島原発事故を教訓とせず原発再稼働を進め、憲法9条も変えて戦争する国を目指すなど、多くの国民の願いと溝を深めている。町政でも、「町の元気がなくなつた。子供は少なく、若者は出て行き、年寄りばかりの町になっていく、この町は大丈夫か」と、不安の声が高まっている。国政は選挙で変えるしかないが、町政は、町長の考え次第で町民を元気に出来る。前向きな答弁を期待する。①町民の合意で始めたとは言えない高度情報通信基盤整備事業の費用対効果と今後計画している利活用で予測される費用は。②聞きにくいと不評のかわねフォンの改善を。貸与でIRU契約には入っていない。想定外の事態にならない限り町民から利用料金を頂くことはない。現在、通話料無料の電話として利用され嬉しいという声が届いている。鈴木議員は嬉しいという声は聞かないのか。

**町長** ①約17億円かかった。利活用では28年度予算にITキャンパスや住民ダイレクター養成で数十万円計上。本格的な利活用はICT利活用検討委員会の報告書に基づき各課で検討して補正予算等に計上する。住民に喜んでもらえれば費用対効果は大きい。②「かわねフォン」は文字放送が主体で不在でも受信情報が確認できる。緊急情報は音声放送するが携帯のメールやテレビ字幕、Jアラートでも確認できる。③かわねフォンは町民への

**質問** 残念ながら聞かされていない。差し込みを抜いている人や、かわねフォンを入れていない100世帯程への緊急情報をどうするのか。

**町長** 入れなければ災害時に大変ということをPRし、福祉関係など重要な情報が届かないことがないよう指示する。

**質問** 28年度予算で①若者の雇用を増やし、結婚・子育てできるまちづくりは。②町民の負担増を避け、町民が元気に活躍できるまちづくりの実現は。

**町長** ①企業等と連携して若者が働きやすい新たな仕事や、雇用の場の確保に努める。②この町に適した一点突破として次は何をやるかという中で、給食費や保育料をどうするか考えたい。

**質問** 大鐵乗車料金の補助創設を。

**町長** 近日中に、大井川鐵道株式会社により大井川鐵道のあり方に関するアンケート調査が実施されるが、その結果などを踏まえて、どのように支援するか検討したい。



徳山聖母保育園の通園風景

答

- 住民に喜んで頂ける利活用が費用対効果だ
- 企業と連携し若者の新たな雇用の場の確保に努める
- 大鐵のアンケート結果を見て支援方法を検討する